

巻頭言 「ダイニングホールやまゆり」の建設始動!!

大学セミナーハウス 総務グループ課長 今井隆明

平成25年度事業計画に開館50周年記念事業のひとつとして初めて「レストラン」の建設が掲げられ、以後、建設業者・食堂業者の選定、電気・ガス・水道等のインフラ整備、行政との交渉等を重ねてきた。



▲新築工事祈願祭の様子(佐藤東洋土理事長)

開館以来、今日まで敷地確定がなされず、又、敷地内に未処理の八王子市有地があるなどの指摘があり、建築確認申請が当初の予定から大幅に遅れた。しかし、施設担当者、設計事務所、測量事務所、地域住民をはじめ、多くの方々のご協力を頂き、平成28年3月14日、建築確認申請の運びとなった。

新食堂棟の名称は「ダイニングホールやまゆり」である。全職員より出された数多くの名称候補の中から最終的に鈴木康司館長、外村幸雄専務理事に選定を一任することになり、大学セミナーハウスには、多くの草花が咲き誇るが、やまゆりもそのひとつであり、八王子市の花でもあること、又、新食堂は単なる食堂棟ではなく

ミーティングやイベントを開けるような「ホール」としての機能を持つということを理由に「ダイニングホールやまゆり」に決定した。そして、平成28年3月7日第19回理事会において食堂棟の名称を「ダイニングホールやまゆり」とすることが、事業計画案とともに承認された。

「ダイニングホールやまゆり」の新築工事祈願祭は平成28年3月25日、佐藤東洋土理事長、鈴木康司館長他大学セミナー職員と相羽建設会社より相羽正会長・相羽健太郎社長他、東京ケータリング株式会社より木原誠治・森晴美両執行役員、設計グループの嶋田幸雄氏・齊藤祐子氏・塩脇裕氏他の参加を得て午前10時30分より食堂建設予定地にて行われた。当日は、春一番のような強風の中、今井総務グループ課長の司会で開会がなされ、佐藤東洋土理事長、相羽正会長、嶋田幸雄氏、森晴美執行役員の挨拶のあと、全員で「切麻散米」「鍬入れ」が行われ、最後に工事の安全と計画通りの工事進行を祈念して鈴木康司館長の挨拶に続き乾杯の音頭に全員で唱和してお開きとなった。

4月21日、建築確認申請が決裁となり、同日、相羽建設株式会社との工事請負契約を締結し、着工となった。

<今後の工事スケジュール>

- 7月中旬：上棟予定
- 9月下旬から10月上旬：厨房工事
- 10月中旬：外構工事・さくら館鉄骨階段取り付け
- 10月下旬：完了検査・建築工事竣工
- 11月12日(土)：食堂棟落成祝賀式(開館50周年記念会)
- 11月20日頃より：「ダイニングホールやまゆり」営業開始予定

<セミナーハウスニュースNo.190主な内容>

- 巻頭言(開館50周年記念事業進捗状況) 1
- 法人ニュース 2,3
- 開館50周年記念事業募金終了のお礼とご報告 3
- 千人会通信 4
- 宿泊業務報告 5
- セミナー事業 6,7
- 新賛助会員のご紹介/館長室から 8

第19回理事会報告(平成27年度第4回)

- 1、開館50周年記念事業資金計画確定
新食堂棟関係49,500千円、大規模修繕10,500千円
- 2、平成28年度事業計画承認
- 3、平成28年度予算承認
- 4、平成28年度年会費減額申請承認
- 5、評議員会の日程承認

平成28年3月7日開催

第19回(平成27年度第4回)理事会が、平成28年3月7日(月)午後4時から6時30分、桜美林大学四谷キャンパス(千駄ヶ谷)において、理事6名(理事総数11名)監事1名の出席のもと開催され、全議案滞りなく承認された。

議案及び概要は以下のとおり

1、開館50周年記念事業に関わる資金計画について

今回の資金計画は、新食堂棟関係49,500千円(さくら館隣接工事 拡幅工事・外構工事・スライディングウォール・テーブル、家具、イス・AV機器)、既存施設(国際館キュービクル・大学院セミナー室屋上防水工事・長期館A内装工事)10,500千円、合計60,000千円を多摩信用金庫から借入れる。

2、平成28年度事業計画について

最重要課題は第1に財政基盤の強化、第2にステークホルダーの構造変化による利用者の拡大である。平成28年度事業計画ではこれらの課題を解決するため次の6項目を策定した。

- (1)開館50周年記念事業の実施
- (2)宿泊研修支援事業の新たな展開と宿泊利用者拡大施策の展開
- (3)セミナー事業の充実
- (4)留学生支援事業の充実
- (5)広報活動の強化
- (6)その他法人に関する事項

3、平成28年度予算について

上記の事業計画を反映させて編成した平成28年度予算について承認した。

平成28年度 収支予算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで 単位：千円

科目	本年度予算額	前年度予算額	増	減
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1)経常収益				
基本財産運用益	1	5		△ 4
特定資産運用益	5	5		0
事業収益	197,881	187,161	10,720	
受取補助金等収益	0	0	0	
受取会費・寄附金収益	38,016	56,530		△ 18,514
雑収益	39	5		34
経常収益計	235,942	243,706		△ 7,764
(2)経常費用				
事業費	245,238	231,392	13,846	
管理費	15,561	13,418	2,143	
経常費用計	260,799	244,810	15,989	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 24,857	△ 1,104		△ 23,753
当期経常増減額	△ 24,857	△ 1,104		△ 23,753
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益	0	0	0	
(2)経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	878,042	879,146		△ 1,104
一般正味財産期末残高	853,185	878,042		△ 24,857
II 指定正味財産増減の部				
受取寄附金	0	3,500		△ 3,500
一般正味財産へ振替額	2,696	11,400		△ 8,704
当期指定正味財産増減額	△ 2,696	△ 7,900		5,204
指定正味財産期首残高	2,110	10,010		△ 7,900
指定正味財産期末残高	0	2,110		△ 2,110
III 正味財産期末残高	853,185	880,152		△ 26,967

4、平成28年度年会費減額について

「公益財団法人大学セミナーハウス協力会員等に関する規程」第6条3項に則って会員大学からの減額申請を承認した。

5、評議員会を5月下旬を目途に開催する提案があり承認された。

第20回理事会報告(平成28年度第1回)

- 1、平成27年度事業報告承認
 - 2、平成27年度決算承認
 - 3、平成28年度年会費の減額申請承認
- 平成28年5月25日開催

第20回(平成28年度第1回)理事会が、平成28年5月25日(水)午後5時から7時10分、桜美林大学四谷キャンパス(千駄ヶ谷)において理事6名(理事総数11名)の出席のもと開催され、全議案が承認された。

1、平成27年事業報告について

平成27年度は、

- (1)開館50周年記念事業実施
- (2)宿泊研修事業の向上(年間延べ利用者33,000人を目指す)
- (3)主催セミナーの充実
- (4)留学生支援事業の展開
- (5)法人事業の強化

等を基本方針として事業活動を進めてきた。特に、50周年記念事業を中心に展開し、①食堂棟の建設、②既存施設のリニューアル、③プロジェクトアドベンチャー(SPA)の本格稼働、④記念誌発行と記念式典準備の具体的検討の4項目を掲げた。食堂棟に関しては、3月14日建築確認申請、4月21日建築確認済証決裁、同日工事着工となった。財源の面では、金融機関との交渉の結果、食堂棟工事・厨房設備工事・設計監理費の1億4,600万円の他に外構工事、テーブル・イス、内装等に4,900万円、合計1億9,600万円の資金を確保することができた。SPAに関しては、広く利用促進活動を行った結果、大学の合宿研修や近隣の教育委員会の新任研修において利用された。また、主催セミナーである新任教員研修セミナーや教員免許状更新講習にSPAを組み入れ参加者に体験してもらうことができた。記念式典は、11月12日(土)に「開館50周年記念会」を開催する。セミナーハウス50年の歩みをたどるスライドショー、本法人の評議員で作家の篠田節子氏と共同セミナーに関わって頂いた方々とで行う記念座談会、食堂棟落成祝賀式、懇親パーティー、国立天文台の長谷川哲夫教授と嘯家の立川吉笑氏による記念セミナー「吉笑ゼミ。～自分らしく考える～宇宙と落語のコラボレーション～」を予定している。

平成27年度 正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで 単位：円

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	2,419	1,282	1,137
特定資産運用益	5,052	8,164	△ 3,312
事業収益	183,393,944	185,223,886	△ 1,829,942
受取補助金等収益	403,836	703,689	△ 299,853
受取会費・寄附金収益	48,514,407	43,965,000	4,549,407
雑収益	262,509	337,217	△ 74,708
経常収益計	232,582,167	230,239,238	2,342,929
(2)経常費用			
事業費	234,990,535	218,028,606	16,961,929
管理費	9,339,586	9,051,369	288,217
経常費用計	244,330,121	227,079,975	17,250,146
評価損益等調整前	△ 11,747,954	3,159,263	△ 14,907,217
当期経常増減額	△ 11,747,954	3,159,263	△ 14,907,217
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益	0	0	0
(2)経常外費用	0	1	△ 1
当期経常外増減額	0	△ 1	1
他会計振替額	0	0	0
一般正味財産期首残高	916,625,084	913,465,822	3,159,262
一般正味財産期末残高	904,877,130	916,625,084	△ 11,747,954
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金	1,512,000	2,505,000	△ 993,000
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	1,512,000	2,505,000	△ 993,000
指定正味財産期首残高	10,965,000	8,460,000	2,505,000
指定正味財産期末残高	3,475,593	10,965,000	△ 7,489,407
III 正味財産期末残高	908,352,723	927,590,084	△ 19,237,361

2、平成26年度決算について

平成27年度決算について、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録を中心に報告があった。資産合計は11億4,067万円で昨年度より、3,435万円の減、負債合計は、2億3,229万円で1,511万円の減となり、正味財産合計は、1,923万円の減少となった。正味財産の合計の増加は、234万円の増加であった。事業収益で182万円、会員会費445万円の減であったが、50周年寄附金収益を900万円繰入れているためである。経費は、管理委託費、消耗品費、光熱水量費を中心に1,725万円増加となり、正味財産を押し下げている。会費の減少、光熱水量費、管理委託費のeラーニング関連経費、ホームページ制作・運用経費等財政基盤確立のための先行投資等が主な要因である。公益法人会計の3原則(収支相償、公益目的事業比率、遊休財産)に関しては、基本的に守られている。

3、28年度年会費の減額申請について

全会一致で承認された。

第9回評議員会報告(平成28年度第1回)

- 評議員会議長決まる
 - 平成27年度事業報告承認
 - 平成27年度決算承認
 - 評議員2名退任および補充選任決まる
- 平成28年6月14日開催

第9回(平成28年度第1回)評議員会が、平成28年6月14日(火)午後4時から6時、桜美林大学四谷キャンパス(千駄ヶ谷)において評議員10名(評議員総数16名)、監事1名の出席および理事長、館長、専務理事陪席のもとに開催され、議案はすべて滞りなく承認された。

議案及び報告事項は以下のとおり

- ◆議案◆
 - ・ 評議員会議長の選定について
 - ・ 平成27年度事業報告について
 - ・ 平成27年度決算書について
 - ・ 評議員2名の退任および補充選任について
- ◆報告◆
 - ・ 開館50周年記念事業特別寄附金状況について
 - ・ 開館50周年記念の集いおよび新食堂棟落成祝賀式について
 - ・ 退会会員状況及び賛助会員加入見通しについて
 - ・ 執行報告について
 - ①宿泊施設の利用状況②セミナー実施状況③施設状況④その他

議案はすべて滞りなく承認された。

評議員会議長 : 鷲山 恭彦 (東京学芸大学名誉教授)
退任 : 川島 堅二 (恵泉女学園大学前学長)
福宮 賢一 (明治大学前学長)
補充選任 : 土屋 恵一郎 (明治大学学長)
八木 敏郎 (多摩信用金庫理事長)

公益財団法人大学セミナーハウス 役員名簿

平成28年6月14日(火)現在

理事(11名)

理事長 : 佐藤 東洋士 (桜美林学園理事長・学園長)
館長 : 鈴木 康司 (元中央大学学長)
専務理事 : 外村 幸雄 (元中央大学広報室長)
常務理事 : 白井 克彦 (元早稲田大学総長・放送大学学園理事長)
理事 : 上野 淳 (首都大学東京学長)
小川 哲生 (明星学苑副理事長)
荻上 紘一 (前大妻女子大学学長)
佐藤 和人 (日本女子大学理事長・学長)
仙波 憲一 (前青山学院大学学長)
蓼沼 宏一 (一橋大学学長)
新田 誠吾 (法政大学副学長)

監事(2名)

監事 : 冲永 佳史 (帝京大学理事長・学長)
光田 明正 (桜美林大学孔子学院名誉学院長)

評議員(16名)

評議員会議長 : 鷲山 恭彦 (東京学芸大学名誉教授)
評議員 : 石森 孝志 (八王子市長)
大井 孝 (一般社団法人日米協会理事)
高祖 敏明 (上智学院理事長)
小畑 秀文 (前国立高等専門学校機構理事長)
篠田 節子 (作家)
清家 篤 (慶應義塾長)
高石 道明 (元信州大学教授)
土屋 恵一郎 (明治大学学長)
馬場 善久 (創価大学学長)
日比谷 潤子 (国際基督教大学学長)
ピーター・マッキヤグ (国際教養大学副学長)
村田 雄二郎 (東京大学大学院教授)
八木 敏郎 (多摩信用金庫理事長)
山本 眞一 (桜美林大学教授)
吉岡 知哉 (立教大学総長)

開館50周年記念事業募金終了のお礼とご報告

平成24年度より開始いたしました開館50周年記念事業募金は、平成28年3月31日をもちまして終了させていただきました。多くの皆様にご理解とご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。ご厚意の寄附金は、新食堂棟「ダイニングホールやまゆり」関係、SPA事業に活用させていただいております。また、11月12日(土)に開催予定の「開館50周年記念会」関連にも使わせていただく所存です。

今号のセミナーハウスニュースでは、2015年10月1日~2016年3月31日のご厚志を対象に、ご芳名を紹介させていただきます。なお、ご芳名の公表を希望されない方につきましては掲載しておりません。皆様のお心遣いに深く感謝し、重ねて御礼申し上げます。

- 寄附者ご芳名(企業・団体)東京ケーターリング株式会社 様
- 寄附者ご芳名(学校法人)青山学院大学 様
- 寄附者ご芳名(個人)今井 隆明 様、川俣 茂 様、佐野 博敏 様、島田 治夫 様、外村 幸雄 様、根来 一樹 様、吉原 健吾 様

開館50周年記念事業募金状況

平成28年3月31日現在

(単位:千円)

区分			合計	
			件数	金額
個人	積立	千人会	84	1,290
		役員	16	1,660
		会員校等職員	6	145
		職員	8	270
	その他	18	292	
小計			132	3,657
法人	積立	会員校等	13	6,150
		関係企業	18	2,920
		一般企業	2	550
小計			33	10,120
積立額合計			165	13,777
積立使用額				10,301
積立額残額				3,476

<法人の積立の会員校等13の内訳(敬称略)>

●協力会員(12)

青山学院大学、桜美林大学、大妻女子大学、恵泉女学園大学、創価大学、中央大学、帝京大学、東京工科大学、法政大学、明治大学、明星大学、早稲田大学

●賛助会員(1)

株式会社幼体連スポーツクラブ



会費をありがとうございました

2015年12月～2016年5月 (敬称略)

12月

生山智己、福井憲彦、松本幸一、有山正孝、中野斉子、吉田 豊、横沼健雄、稲持教昭、三浦安子、山田 暁、岡崎 正、堀井啓幸、青柳総太郎、森 久、小谷正博、上田明子、川端香男里

2016年1月

大澤恵美子、鈴木 皇、川崎正三、新井 明、柳澤富雄、佐藤音彦、並木信一、飯野訓征、海老沢信一、池井 優

2月

石川道夫、蓮見音彦、秋間 実、小場瀬令二、佐藤 光、柳父園造、新保清子、高松正昭、泉 敏彦、村上 健、肥前榮一、中村妙子、小林一彦、平野由紀子

3月

宮腰 賢、磯 直道、絹川正吉、小幡史朗、勝見允行、竹村五夫、柴田泰比古、島田治夫、佐藤公孝

4月

松澤通生、鳥海保子、箱木真澄、檜田信男、小場瀬潤子、海老根 宏、金子六郎

5月

山田耕司、加藤晴久、澤島侑子、柏原啓一、滝口俊子、太田正孝、犬塚 博、芳賀 徹、荒井 献、木村建一、西澤宗英、瀬戸岡 紘、朝野洋一、中村正一

会員からのメッセージ

(敬称略)

○50周年事業が無事進むよう祈っています。**福井憲彦**

○来年も、よろしく願い致します。**中野斉子**

○今年もなんとか無事に誕生日をむかえることが出来、感謝しております。大学セミナーハウスの益々の御発展をおいのりいたします。**横沼健雄**

○大自然の中で、心を開きあう場所—これがセミナーハウスの生命ですね。この生命がこれからも保たれますようお祈り申し上げます。**三浦安子**

○バースデーカードをありがとうございました。東京、富山、山梨とそれぞれのところで教育を学び昨年、故郷静岡に戻ってきました。**堀井啓幸(常葉大学)**

○誕生日カード、ありがとうございます。リタイアして晴耕雨読、全天泳歩の毎日です。セミナーハウスの益々のご発展をお祈り申し上げます。**青柳総太郎**

○また3月に1泊2日でお世話になります。どうぞよろしく願いいたします。**森 久**

○千人会費の他に50周年記念のために。**鈴木皇**

○社会の未来をつくる青少年が育まれる場として、セミナーハウスがますますよい働きをされることを願っています。

並木信一

○1月18日、センター試験翌日は大雪になりました。一面銀世界。純白のセミナーハウスの姿もきっと美しいことでしょうね。山梨学院も創立70周年を迎えました。

海老沢信一(山梨学院大学)

○年金生活となり、最小限です。**池井 優**

○今年3月で駒場校を定年になり、4月から身分が特任教授になります。**石川道夫**

○おかげさまで米寿を迎えることができました。いのちあるかぎり、大学セミナーハウスを応援しつづけたく存じます。

秋間 実

○学生たちとセミナーハウスで合宿した時のことを昨日のように思い出します。**佐藤 光**

○1960年代に数々のセミナーに参加させていただきました。深く感謝しています。**柳父園造**

○50周年、おめでとうございます。早稲田大学の故染谷恭次郎先生のゼミ合宿でお世話になったのはまさに創設初期の頃でした。あれから半世紀が過ぎたのですね……。**高松正昭**

○20余年にわたるタイ学界との学术交流日タイ・セミナーが終了し、記念論集In the Light of History Bangkok,2015が出版されました。**肥前榮一**

○退職して18年、78歳の誕生日を迎えました。存じあげている方々も多く逝去なさいました。**宮腰 賢**

○教会員をつれて、いまだ月に3回は東北の支援に行ける健康を感謝しております。**小幡史朗**

○50周年記念事業の完成を祈りあげます。**島田治夫**

○長い間、千人会の会員をいたしましたが、今回の会費納入で退会させていただきます。飯田館長の時、大学セミナーハウス讃歌を合唱で歌って欲しいとのご依頼のセミナーハウスとはお付き合いでした。ありがとうございます。貴会の発展を祈ります。

佐藤公孝

○八重桜も終わって新緑の候になると、毎年新緑の美しいセミナーハウスで学生たちと過ごした楽しい日々を思い出します。一生懸命勉強してきた学生の息吹き、休み時間の散歩やピンポン。50年も前のことなのに鮮やかに目に浮かんできます。貴ハウスの益々のご発展をお祈りしております。**金子六郎**

○5月10日の誕生日に満87歳になります。散歩、体操等をして、寝たきり老人にならぬようにつとめています。**澤島侑子**

○使用させていただいた日が、遠い昔になりました。多くの方々に活用されますように。**滝口俊子**

○健康寿命を大切に考えて生きてます。**太田正孝**

○セミナーハウスの歴史も半世紀となって感慨深いものがあります。飯田先生のお顔が浮かんできます。一層のご発展を祈っています。**犬塚 博**

○3月にお二人の先輩が定年で退職されました。次はいよいよ小生が2年後です。**西澤宗英**

○貴ハウスで研修に参加した日々をなつかしく思います。機会をつくってまた宿泊したいと思います。**中村正一**

千人会の皆様へ

～桜、新緑、そして紫陽花と、美しく衣をかえていくセミナーハウスです。夏は太陽も熱く、各大学の夏のゼミ合宿も熱く展開され、まぶしい季節を迎えます。皆様に開館50周年記念の集いと新食堂棟落成祝賀式においでいただく頃は美しい紅葉を纏ったセミナーハウスがお迎えいたします。セミナーやゼミ合宿で熱く語り合ったセミナーハウス(旧友)へ会いにいらしてください。～

セミナーハウスニュース担当



- ◆平成27年度年間の宿泊利用者数 31,309人
- ◆平成27年度の宿泊利用者数は31,309人で、前年度が32,047人でしたので、738人の減少でした。

上期は、18,140人(前年20,343人、前年比89.2%)で、2,203人の減少となりました。主な要因は会員校の利用減少に因るものです。

下期は、13,169人(前年11,704人、前年比112.5%)と、1,465人の増加となりました。主な要因は、一般校の増加です。年間では前年比で会員校89.9%、一般校128.7%、社会人90.8%になりました。

28年度は会員校の利用減少に歯止めをかけること、及び社会人の利用促進を図ることになります。

◆ 区分別利用状況 平成27年度

宿泊延利用人数全体の占める区分別の構成比は表1、図1に示す通りです。

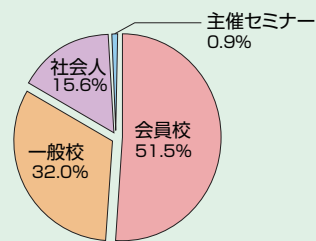
＜表1＞宿泊延べ人数表

年度	平成27年度		平成26年度	
	宿泊延人数	構成比	宿泊延人数	構成比
会員校	16,109	51.5%	17,915	55.9%
一般校	10,009	32.0%	7,778	24.3%
社会人	4,894	15.6%	5,390	16.8%
主催セミナー	297	0.9%	964	3.0%
合計	31,309	100.0%	32,047	100.0%

※主催セミナーは会員校に含む

利用区分比率は会員校で前年比で▲4.3ポイント、一般校で+7.7ポイント、社会人で▲1.2ポイント、主催セミナーで▲2.1ポイントになりました。教育関係の占める割合は84.4%となりました。

＜図1＞利用者区分構成比



◆ 宿泊の年間稼働率は31.2%

本年度の営業日数は360日で、宿泊室(宿泊定員279人)の年間平均稼働率は31.2%でした。尚、ご参考までに本年度利用の多かった協力会員をご紹介します。

＜表2＞協力会員利用トップ10

● 宿泊延べ人数		● 利用件数	
1	創価大学 1,449	1	首都大学東京 39
2	首都大学東京 1,361	2	帝京大学 31
3	明治大学 884	3	中央大学 25
4	帝京大学 874	4	早稲田大学 24
5	早稲田大学 851	5	創価大学 23
6	中央大学 769		法政大学 23
7	法政大学 741		明治大学 23
8	青山学院大学 665	8	青山学院大学 17
9	東洋大学 638	9	慶應義塾大学 15
10	上智大学 358	10	東洋大学 13

お客様の声

セミナーハウスでは、ご利用の皆様に「お客様の声」というアンケートへご協力をいただいております。その中から一部(2015年のご利用分を含む)をご紹介します。

○三菱UFJ不動産販売株式会社鈴木雅幸様より

昨年の利用時の詳細も記録していただいていたようで、こちらが忘れていたことなども指摘いただき、計画をつくり進める上で、非常に助かりました。今年もたいへんお世話になりました。毎年非常に気を配っていただいていると感じ、感謝しております。新入社員のいい思い出となっています。

○東京農工大学工学部物理システム工学科鶴飼正敏様より

32年ぶりに利用しました。個室は快適であり、セミナー室はよく整備されていると感じました。学生の利用者を主とする施設として、適度な自主性を重んじる雰囲気が好きと思えました。ありがとうございました。

○(記名なし)

本年7月5日に50年をむかえられおめでとうございます。私は早稲田大学建築学科の卒業生で、吉阪先生が設計したこの建物が以前(私が大学に入ったときのオリエンテーションで使用、1982～3年頃)から、とても興味があり好きです。館内のパンフレット等(セミナーハウスニュース)を見ると、建物の老朽化や、時代が変わったことに対処する難しさ等、この施設を維持するため大変ご苦労をされている様子がわかります。次の時代に向けて、セミナーハウスの良いところを(他の施設では体験できないところ)残して、利用者に愛される施設であってほしいと思います。

○(記名なし)

建築が好きです。ずっと見たかった建物だったので泊まれて感動しました。築50年、いつまでも吉阪さんの名建築が残っていてほしいと思います。セミナー参加者以外も、泊まれる施設でとてもありがたかったです。

◆ 宿泊プランのご紹介

各プランの詳細、お申し込みについてはホームページをご覧ください。

＜直前2か月前予約割引利用プラン＞

会員、非会員・賛助会員、社会人のそれぞれの料金から1泊朝食付で最大39%割引となる期間限定プラン

(2016年10月1日～2017年2月27日
(年末年始休業日を除く)の期間限定)
8月1日からの予約受付開始に向けて現在準備中。

《実施(予定)期間:2016年10月～2017年2月》

＜協力会員大学附属・系列の小・中学校、高等学校等の合宿研修割引料金プラン＞

協力会員大学の附属・系列校を対象として協力会員大学と同じ会員校料金での宿泊とセミナー室1室無料(23時まで)の会員校特典をつけた優待プラン

《実施(予定)期間:2016年4月より継続中》

＜留学生短期滞在応援プラン＞

海外から首都圏(主に東京多摩地域)の大学に短期留学の学生・教職員向け宿泊費特別割引プラン

《実施(予定)期間:2015年8月より継続中》

2015年度開催セミナーの報告

セミナー名・テーマ	開催日	講師・企画（運営）委員	受講者（定員）
第14回教員免許状更新講習	1月20日(水)～1月23日(土)	安田忠郎(教員免許更新センター長)**、 蔦澤元晴(早稲田大学大学院教職研究科講師)、 佐々木掌子(立教女学院短期大学専任講師)、 谷川健司(早稲田大学政治経済学術院客員教授)、 田中三彦(科学ジャーナリスト)、 松岡信之(国際基督教大学名誉教授)	292名 (360名)
eラーニングによる教員免許状更新講習	1月13日(水)～3月31日(木)	村瀬幸浩(「人間と性」教育研究協議会幹事、日本思春期学会名誉会員、季刊雑誌『sexuality』副編集委員)、 有賀清一(桜美林大学ビジネスマネジメント学群講師)、 蔦澤元晴(早稲田大学大学院講師)	61名 (各2,000名)

**印は企画委員と講師を兼ねる。

2016年度開催セミナーの報告と予定

<大学生を対象としたセミナー>

セミナー名・テーマ	開催日	講師・企画（運営）委員	参加者（定員）
大学セミナーハウス開館50周年記念セミナー 憲法を学問する	6月11日(土)～12日(日)	樋口陽一(東京大学名誉教授・東北大学名誉教授)、 石川健治(東京大学法学部教授)、 蟻川恒正(日本大学大学院法務研究科教授)、 木村草太(首都大学東京法学系教授)、 穴戸常寿(東京大学法学部教授)	60名 (60名)
第5回EUセミナー EUの新たな試練	9月23日(金)～25日(日)	渡邊啓貴(東京外国語大学大学院教授)**、 田中素香(中央大学経済研究所客員研究員)**、 太田瑞希子(亜細亜大学専任講師)、 蓮見雄(立正大学教授)**、 中西優美子(一橋大学大学院教授)**、 福田耕治(早稲田大学政治経済学術院教授)**、 押村高(青山学院大学教授)**、 小久保康之(東洋英和女学院大学教授)**	(70名)
大学セミナーハウス開館50周年記念セミナー 吉笑ゼミ。～自分らしく考える～宇宙と落語のコラボレーション	11月12日(土)	立川吉笑(落語家)、 長谷川哲夫(自然科学研究機構国立天文台・チリ観測所上席教授)	(120名)

**印は企画委員と講師を兼ねる。

<大学教職員を対象としたセミナー>

セミナー名・テーマ	開催日	講師・企画（運営）委員	参加者（定員）
第6回新任教員研修セミナー	9月5日(月)～9月7日(水)	安岡高志(立命館大学教授)、 有賀清一(桜美林大学講師)、 村山光子(明星学苑法人本部企画部課長)、 佐藤順子(セミナーハウス・ファシリテータ)、 菊地滋夫(明星大学教授)**、 荒木晶子(桜美林大学教授)**、 江夏由樹(帝京大学教授)**、 北原和夫(東京理科大学教授)*、 史傑(電気通信大学教授)**	(40名)
第33回大学職員セミナー 職員が拓く大学の未来—大学職員に期待されるもの—	7月1日(土)	吉武博通(筑波大学大学院教授・大学研究センター長)、 近藤清之(法政大学学務部長)*、 青木加奈子(高崎経済大学研究グループ 研究支援チーム)*、 岩崎宏政(明治大学社会連携事務室事務長)*、 大久保陽造(中央大学入学センター入学企画課課長)*、 山本真一(桜美林大学大学院・大学アドミニストレーション研究科教授)*	(50名)
第34回大学職員セミナー 大学職員の可能性—大学改革を牽引する職員を目指して—	11月25日(金)～11月26日(土)	後藤さゆり(共愛学園前橋国際大学副学長)、 横田利久(関西国際大学事務局長)、 近藤清之(法政大学学務部長)*、 青木加奈子(高崎経済大学研究グループ 研究支援チーム)*、 岩崎宏政(明治大学社会連携事務室事務長)*、 大久保陽造(中央大学入学センター入学企画課課長)*、 山本真一(桜美林大学大学院・大学アドミニストレーション研究科教授)*	(40名)

*印は企画委員、**印は企画委員と講師を兼ねる。

<教員免許状更新講習>

セミナー名・テーマ	開催日	講師・企画（運営）委員	受講者（定員）
第15回教員免許状更新講習(対面式)	8月1日(月)～7日(日)	蔦澤元晴(早稲田大学大学院講師)、 谷川建司(早稲田大学大学院客員教授)、 粟野由美(東京造形大学教授)、 齊藤祐子(前橋工科大学非常勤講師)、 荒木晶子(桜美林大学教授)、 原田淳(立教大学講師)	(30～50名)
平成28年度eラーニングによる教員免許状更新講習	2016年4月16日(土)～ 2017年3月31日(金)	蔦澤元晴(早稲田大学大学院講師)、 加藤彰彦(沖縄大学名誉教授)、 村瀬幸浩(「人間と性」教育研究協議会幹事)、 大和久勝(特別二一ズ学会・日本生活指導研究所・全国生活指導研究会所属)、 有賀清一(桜美林大学専任講師)	(必修2,000名、 選択必修・ 選択各2,000名)

2015年度 開催セミナーの報告

■第14回教員免許状更新講習／

eラーニングによる教員免許状更新講習

例年、対面式の教員免許状更新講習は2回開催していたが、2015年度は1月20日(水)～1月23日(土)にも開講し、年間3回開催したことになる。

さらに、eラーニングによる講習を新たに立ち上げ、1月～3月まで開講し、短期間ではあったが61名の受講者が得られた。

2016年度 開催セミナーの報告

■開館50周年記念セミナー

主題：憲法を学問する

期間：6月11日(土)～12日(日)

対象：主に大学生・大学院生

講師：樋口 陽一(東京大学名誉教授・東北大学名誉教授)

石川 健治(東京大学法学部教授)

蟻川 恒正(日本大学大学院法務研究科教授)

木村 草太(首都大学東京法学系教授)

穴戸 常寿(東京大学法学部教授)



▲樋口 陽一 氏(東京大学名誉教授・東北大学名誉教授)

初日の樋口陽一氏と石川健治氏との師弟による対論は、樋口先生の視野の広さが伺えらるとともに、次のパネルディスカッションとも響きあう高密度の議論が繰り広げられ、会場の参加者はスタートから魅了された。

続いて行われた各分科会講師によるパネルディスカッションでは、まさに打合せで流れが作られた議論ではありえない、リアルタイムの議論が展開される場に居合わせるスリルと興奮を体験することができた。これがその後の分科会への強力な道筋となったことは言うまでもない。



▲パネルディスカッションの様子。右端より石川氏、蟻川氏。

2時間弱におよぶ分科会は、そのまま夕刻からのフリートークの場に引き継がれ、参加者は著名な講師陣を囲んで夜の更けるのも忘れて話し合うことができた。参加者からは「垣根なく自由な会話ができて有意義だった」、「先生方は思った以上に気さくに接してくださり、本当に楽しかった」、「有名な先生ばかりで舞い上がってしまい、どうしたら良いかわからず食べ過ぎてしまった」などの声が寄せられた。

二日目は参加者による分科会報告。学生、社会人がそれぞれ発表した、どの分科会の報告も論点をしっかりとまとめることができていた。その後の講師との質疑応答も引き続き熱気あふれるものとなり、質問者からは、「拙い自分の質問の意味を深めて受け止めてくださり、真摯に答えてくださったことに感謝します」との感想が寄せられた。



▲参加者と講師のディスカッションの様子。左端は穴戸氏、右端は木村氏。

最後に、参加者からの「いつまでも続けたいと思いました。このような機会を設けてくださって感謝します」との言葉を講師の先生方にお伝えするとともに、開館50周年の節目のセミナーの報告とさせていただきます。

2016年度 開催セミナーの予定

■第33回大学職員セミナー

主題：職員が拓く大学の未来—大学職員に期待されるもの—

期日：7月1日(金)16時～18時

場所：法政大学市ヶ谷キャンパス

対象：大学の教職員

大学に対する社会の期待が一層高まる中、他方でその経営環境は急速に厳しさを増しています。一人ひとりの教員と職員が高い使命感と強い危機感を持つことが不可欠ですが、教育・研究における組織的取組や経営力の強化のために、大学職員が果たす役割は飛躍的に増しつつあります。そのことにどう応えるべきか、具体的・実践的に考えます。吉武博通氏を講師にお招きして日帰りで実施する特別セミナーです。

■第6回新任教員研修セミナー

期日：9月5日(月)～7日(水)

参加対象：国公立大学で授業を担当する新任教員(年齢不問)

大学入試改革と呼应して、従来は一方向的な知識の伝達・注入に偏りがちだった高校や大学での学びに、「生徒・学生が主体性を持って多様な人々と協力して問題を発見し解を見出していくアクティブ・ラーニング」の導入が求められています。本セミナーでは、参加者及び講師との交流を通してアクティブ・ラーニングを体験的に学び、それぞれの教育実践につなげることがねらいです。

■第5回EUセミナー

主題：EUの新たな試練

期日：9月23日(金)～25日(日)

対象：大学生・大学院生

EUの現状を複眼的に考察し、EUがどのように新たな試みを行おうとしているのか、をテーマとします。昨年大きく取り上げられた難民・テロをはじめとして、毎年話題となるギリシャ財政危機とEU通貨・財政政策の行方、そしてイギリスのEU離脱をめぐる国民投票の影響などはEUが直面する当面の大きな課題です。難民・テロ問題はシェンゲン条約の法的枠組み、EU市民、排外主義など人の移動をめぐるさまざまな課題をあらためて浮き彫りにしています。なお、駐日欧州連合大使の特別講演を予定しています。

■開館50周年記念セミナー

主題：吉笑ゼミ。～自分らしく考える～

—宇宙と落語のコラボレーション—

期日：11月12日(土)15時20分～17時50分

国立天文台教授の長谷川哲夫氏は、チリ観測所の所長として世界一の性能を誇るアルマ望遠鏡の建設に携わり、今年3月所長の任を終え日本に帰国したばかりの科学者です。その長谷川哲夫氏に最新の宇宙科学をテーマに講義をしていただき、それを題材に新進気鋭の落語家立川吉笑氏が即興で落語に仕立て上げます。最新の宇宙科学と落語という異質な題材をコラボさせるとどんな化学変化が起きるのでしょうか。大学セミナーハウス50周年の節目に相応しい新感覚のセミナーが楽しみです。参加費は無料で、先着順の受け付けとなっております。多くの方のご参加をお待ちしております。

■第34回大学職員セミナー

大学職員の可能性——大学改革を牽引する職員を目指して——

期日：11月25日(金)～26日(土)

場所：大学セミナーハウス

対象：これからの大学を担う若手・中堅、また熱意ある職員(教員を含む)

近年の教育改革、特に高等教育に関わる改革・改善の急速な流れの中で、大学職員はどのように動いていけばよいのでしょうか。本セミナーの特色である地方バーチャル大学を題材にしたワークショップを行いつつ、全国の国公立大学の職員が一堂に集まって活発な議論を展開します。

*詳細は大学セミナーハウスのホームページをご覧ください。

新基準による賛助会員加入者は下記の通りです。

継続加入者：株式会社スリーボンド、株式会社幼体連スポーツクラブ

新規加入者：安藤物産株式会社、多摩信用金庫、ユニバーサルプロジェクト株式会社

敬称略・50音順

館長室から 50周年記念セミナー「憲法を学問する」

大学セミナーハウス 館長 鈴木康司

昨年、創立50周年を迎えた公益財団法人「大学セミナーハウス」は今年もこれにちなんだ周年事業を続けています。本来なら昨年着工したかった新しい食堂棟建設を種々の事情から延期せざるを得なかったのですが、やっと難しい手続きも終わり、地鎮祭を3月25日に済ませ、現在、建設会社の手で木造の新しい食堂棟を秋に完成させるべく、地ならしから順序を踏んで少しずつ工事が進んでいます。すでに新しく入る食堂業者も決まり、現在の本館最上階での食堂もこの業者による、営業がはじまりました。

6月に入って50周年記念セミナー「憲法を学問する」が、11日、12日の二日間行われました。昨年来、政治の分野できわめて強引な形での憲法解釈が行われ、いくつもの法律が国会で成立しましたが、我々学問の世界に住む人間としては、改めて立憲民主主義国における憲法とはいかなるものか、じっくり腰を据えて勉強するのが大学セミナーハウス本来の姿であろうと考え、現在、日本の憲法学者として最高権威である樋口陽一先生にお願いして、現役で活躍しておられる石川健治(東京大学)、蟻川恒正(日本大学)、木村草太(首都大学東京)、宍戸常寿(東京大学)の諸先生をお迎えすることができました。

第一日目は樋口先生と石川先生の師弟対論に始まり、次いで四人の先生によるパネルディスカッション、その後、四つの分科会、すなわち「執政と行政」「個人の尊厳」「立法と司法」「表現の自由」に分かれて討議が行われました。北は北海道から南は九州まで、それぞれのモチベーションに基づき、自発的に申し込まれた約60名にのぼる学生、院生、一般参加者の方々の熱意がひしひしと感じ取れる会合となりました。最年長者は八十一歳のご婦人でありました。二日間にわたる先生方と参加者の皆さんによる真摯で熱気あふれるセミナーや討論、質疑応答、そして疲れをいやす懇親の夕べなど、企画した当事者として非常に充実した時間だったと思います。

1945年の敗戦までは天皇を頂点とした国家主義に支配されていた日本が1947年、歴史上初めて主権在民を高らかに歌った現行憲法を施行、以来、我々日本人は、基本的人権、思想、信条、言論の自由を保障するこの憲法のもとで暮らしてきました。憲法をしっかり学び、理解することが学問を志す者として欠かすことのできない義務であるとの思いから、この企画は生まれたものであります。

11月12日には食堂棟完成祝いも兼ね、改めて記念式典と講演などをおこないますが、「憲法を学問する」は、今年前半のセミナーハウスの活動として、最も重要な出来事だったと思っております。今後も、セミナーハウスにふさわしいセミナー活動を、皆様のご理解、ご協力を得ながら継続してまいりたいと強く願っています。



▲「開館50周年記念セミナー」の講師・参加者の皆様と
(前列右から3番目:鈴木館長)



セミナーハウス・ニュース No.190

発行 = 公益財団法人 大学セミナーハウス
2016年7月1日発行

発行人 = 鈴木康司 発行部数 = 3,500部
編集 = 大学セミナーハウス 総務グループ
制作 = ユニバーサルプロジェクト株式会社